

全国主要男声合唱大会の歴史 日本最古はJAMCA演奏会！

終息しないコロナ禍の影響でほとんどの合唱団が満足に歌えない状況が続いています。各種大会が中止や延期に追い込まれています。合唱団のメンバーの中には、密になる場所へは行かないよう会社から指示されたり、新型コロナウイルスに感染するなど難題を突き付けられたりしています。

それはひとまず横へ置いといて、男声合唱大会の歴史について調べてみました。男声合唱団ではなく「男声合唱大会」です。

日本で最も古いのは1973年に始まった日本男声合唱協会(JAMCAじゃむか)主催の日本男声合唱協会演奏会ではないかと思えます。

下表(2019年8月現在)のように、県連が主催するものから、まったく独自の組織として活動するものまで、開催時期や規模もさまざま、それぞれ紆余曲折や歴史があります。また、一般に懇親会を開きますが、そうでない場合もあります。

1973	日本男声合唱協会演奏会【日本男声合唱協会】
1990	おとうさんコーラス大会【埼玉県合唱連盟】
	青森県男声合唱フェスティバル【青森県男声合唱フェスティバル】
1993	関東おとうさんコーラス大会【全日本合唱連盟関東支部】
1995	神奈川男声合唱協会演奏会【神奈川男声合唱協会】
1999	バックスフェスタ/関西男声合唱祭【関西合唱連盟】
	男の合唱まつりinみやぎ【宮城県合唱連盟】
2001	東京男声合唱フェスティバル【東京都合唱連盟】
2007	長野県男声合唱フェスティバル【長野県男声合唱フェスティバル】
2009	彩の国男声コーラスフェスティバル【埼玉県合唱連盟】
2010	全日本男声合唱フェスティバル【全日本合唱連盟】
2016	愛知県男声合唱フェスティバル【愛知県男声合唱フェスティバル】

日本男声合唱協会演奏会は、1971年創設、約2年に一度、各地で加盟団体による演奏会やイベントを行っています。理事団体が中心になって運営しており、大会の内容なども他とはかなり違っています。

埼玉のおとうさんコーラス大会は、1990年川口のサッポロビール工場講堂を借りて暑気払いとして立ち上げ、その後オープンとなり、1993年に全日本合唱連盟関東支部と共催、関東おとうさんコーラス大会と名称も変更、関東

支部9県連が持ち回りで開催する方式となりました。それが一巡したので関東大会は終了とし、埼玉県連主催の彩の国男声コーラスフェスティバルを新たに立ち上げ継続し現在に至っています。県連加盟の有無は問いません。但し、懇親会ではお酒が出るため、未成年は演奏だけで懇親会には参加できない点が悩ましいです。

青森県男声合唱フェスティバルは、県連とは別に実行委員会が運営し、10団体ほどが出演しています。神奈川男声合唱協会演奏会は、県連とは別に神奈川男声合唱協会KAMCAが主催、当初9団体でスタート。2年に1回県内各地で合同演奏会、第9回からは県内を4ブロックに分け、演奏会を開催しています。

バックスフェスタ(関西男声合唱祭)は、小学生以上が出演可能ですが、打ち上げには子供料金が設定されていないので参加は不可でしょうか。男の合唱まつりinみやぎは、1999年発足、宮城県連と実行委員会の共催。演奏時間30秒以内のオーバーはペナルティとして懇親会用に酒一升の提出が必要、その後30秒ごとに一升が加算されます。

東京男声合唱フェスティバルは、出演団体と聴衆による人気投票があり、最高得票の団体は翌年招待演奏の栄誉を受けます。この大会はお酒の出る懇親会はやらず、一日中演奏会となっています。子供も出演できるのは嬉しいですが、懇親会なしはやや寂しいでしょうか。

長野県男声合唱フェスティバルは、当初毎年開催していたが近年は隔年となり、6～7団体が参加。全日本男声合唱フェスティバルは、全日本合唱連盟が2010年におかさんコーラスの向こうを張って開催に漕ぎつけた大会です。ほぼ2年に一度開催し

てきましたが、今年の長野大会はコロナ禍の影響で中止となりました。愛知県男声合唱フェスティバルは、JAMCA演奏会と交互になるよう隔年開催。合同演奏は400名の大合唱です。

詳しくはこちら↓にまとめてあります。ご覧ください。

全国主要男声合唱大会 総覧

http://rkato.sakura.ne.jp/music/zenkoku_danfes_souran.html

(間違いなどございましたら、ご一報頂けるとありがたいです)